

## 橋本茨城県知事が人文学部で講演

橋本昌茨城県知事が20日午前、茨城大学人文学部を訪れ、「政治とメディア」の講義に出席し、「県政運営とメディア」をテーマに約1時間講演、残りの30分で茨大生による模擬会見に応じた。

冒頭、橋本知事は、50人の学生を前に、「自分が初当選した当時は、8選知事、6

選知事など多選知事がたくさんいたが、今は自分だけになってしまった」と、メディアから出ている多選批判を意識したのか、こう自己紹介した。

それを踏まえて知事は、「長いということはどうとらえるか。長くないとできないこともあり、長いと弊害が出てくるかもしれない。そうしたことをにらみながら県政を運営する必要がある」との認識を示した。

また、知事は、「活字だから正しいと思いがちだが、活字でも間違っていることはたくさんある」、「そういう批判的な形で見ると読者は日本では、まだ育っていない」と報道を読み解くメディア・リテラシーの重要性を強調。同時に、知事は、メディアの果たす役割は大きいとし、「これからの日本、茨城をよくするためにどうすればよいのか高い発想を持って（報道して）ほしい」と期待感を表明した。

最後の学生との模擬会見では、「失言はありましたか」との学生からの質問に対して最近の具体的な事例を出して、「そんな意味ではなく、つい口が動いてしまった」と軽妙に受け答えに応じ、爆笑をさらっていた。

(終)

